

イエスに従う道

ヨハネによる福音書一八章12〜27節

ペトロに片方の耳を切り落とされた人の身内の者が言った。「お前が園であの男と一緒にいるのを、私に見られたではないか。」
ペトロは、再び打ち消した。するとすぐ、鶏が鳴いた。(26、27)

イエスが捕らえられたとき、ペトロは密かにそのあとを付いて行きました。15節の「付いて行った」という言葉は、「従う」という言葉です。かつてガリラヤ湖の岸边で主イエスに声をかけられたとき以来、ずっとイエスに従ってきたペトロでした。主イエスが捕らえられたこのときも、主に従おうとしたのです。しかし、最後まで従いきることは出来ませんでした。自分の命を救うために、キリストを捨てたのです。けれども主イエスは、そのような者たちを救うために、自分を捨てて十字架の道を歩まれました。私たちはこのイエスによって救われた者たちです。その恵みに生かされた者たちは、イエスを捨てるのではなく、自分を捨てて主イエスに従っていくのです(ルカ九23、24)。それぞれに与えられている十字架を負いながら、主イエスに従う道を歩みたいものです。